

児童発達支援・放課後等デイサービス コモド
2018年度 自己評価表

1. 事業所における自己評価表（放課後デイサービス）
2. 事業所における自己評価表（児童発達支援）
3. 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：平成31年3月1日

事業所名 コモド北

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題・工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		身体をのびのびと動かして遊ぶには狭いと感じる。ただ、子どもの姿がよく見える範囲だと思っている。
	② 職員の配置数は適切であるか		○		職員の急な退職時にも対応できるような体制づくりを心掛けたい。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		バリアフリー化はなされていません。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			子どもたちが気持ちよく過ごせるよう環境を整えたり、清掃をしている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		月1回支援計画の振り返り。普段も子どもたちの話をしている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者の意向を把握し、業務改善につなげるよう努めている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開する予定です。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在、評価していただいている所はありません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		発達の知識レベル向上のために外部研修は可能な限り参加している。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		○		保護者からいただいたアセスメントと施設での姿を分析し、支援計画を作成している。よりよい支援計画を作成できればと考えている。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		今後、必要かどうかの判断も含めて検討していきたいです。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設	○			ガイドラインに沿った内容で支援をしている。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			子どもの様子に合わせて支援に沿った支援内容を行っている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		ほぼ一人で行っていることが多いので今後チームで立案できるか検討していきたい。

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		なるべくその子たちの様子に合わせて工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		集団活動をメインにしている為、個別の活動は少ないが、計画はしている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		立案した人が全体に知らせていき、なるべく役割を作っているようにしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		振り返りを行いながら支援記録を作成し、職員間での共有を行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		その子の様子を細かく書くことを意識している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		職員同士で話し合いを行っているが、さらに十分な見直しを行うための時間の確保に努めていきたい。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		子どものことは分かっているが障害に対する知識不足を感じる。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		利用児との関わりのない第三者機関との連携は行っていない。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		医療的ケアが必要な利用児童はいない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		医療的ケアが必要な利用児童はいない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて対応していきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて対応していきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修にはなるべく参加している。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		児童館との交流はないですが、地域のこどもとの交流はある。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		北区の子ども部会に月1回参加している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や保護者会、面談を通して互いの様子を話したり、課題を伝えたりと共通理解ができるようにしている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		相談は受けているが、ペアレント・トレーニングは行っていない。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に丁寧に説明を行っている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		作成した支援計画を元に面談という形で説明をし、その上で支援計画に同意していただいています。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からのお話には耳を傾け、一緒に考え、支援をしている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会を開催している。その中でも保護者同士で話をしたり、関係作りを心掛けているが、支援というところまでは至っていない。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		今後も迅速かつ適切に対応していきます。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に1回のペースで会報を発行し、活動の様子や行事などを知らせている。ブログは更新頻度を上げるよう努力をしたい。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		今後も気をつけていきたい。
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		状況によって配慮している。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		企画・運営等を行う時間を作れるよう工夫・検討を行っていききたい。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		保護者の方々に目を通してもらえるよう、マニュアルは各家庭に配布している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に4回ほど、避難訓練を行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用契約時などに健康調査票に記入してもらっている。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○		食物アレルギーの子に対しては別の書類を記入してもらい、保護者と対応について確認している。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		怪我やヒヤリハットがあった場合には記録に残し全体に周知している。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		定期的に行っていかねたらと考えている。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		現在まで身体拘束を行った事はないが、もし今後必要な場合には手順をしっかり踏んで行っていかねたらと考えている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：平成31年3月1日

事業所名 コモド北

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題・工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		身体をのびのびと動かして遊ぶには狭いと感じる。ただ、子どもの姿がよく見える範囲だと思っている。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		職員の急な退職時にも対応できるような体制づくりを心掛けたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		バリアフリー化はなされていません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		月1回の支援計画の振り返り。普段から子どもたちの支援について話をしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者の意向を把握し、業務改善につなげるよう努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在、評価していただいている所はありません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		発達の知識レベル向上のために外部研修は可能な限り参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からいただいたアセスメントと施設での姿を分析し、支援計画を作成している。よりよい支援計画を作成できればと考えている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		今後、必要かどうかの判断も含めて検討していきたいです。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		ほぼ一人で行っていることが多いので今後チームで立案できるか検討していきたい。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			なるべくその日の子たちの様子に合わせて活動を変更したり、工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		今後も計画的に行っていければと思う。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		集団活動をメインにしている為、個別の活動は少ないが、計画はしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			立案した人が全体に知らせていき、なるべく役割を作っていけるようにしている。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		振り返りを行いながら支援記録を作成し、職員間での共有を行っている。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○	その子の様子を細かく書くことを意識している。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○	職員同士で話し合いを行っているが、さらに十分な見直しを行うための時間の確保に努めていきたい。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○	様々な活動ができるように支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	子どものことは分かっているが、障害に対する知識不足は感じる。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校の情報は保護者の方を通して情報を共有することができている。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアが必要な利用児童はいない。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	就学前に利用していた保育園等との連携は現在行っていない。必要に応じて対応していく。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	今後、機会があれば情報の共有をしていく。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	研修にはなるべく参加している。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	児童館との交流はないが、地域のこどもとの交流はある。
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		北区の子ども部会に月1回参加している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や保護者会、面談を通して互いの様子を話したり、課題を伝えたりと共通理解ができるようにしている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	相談は受けているが、ペアレント・トレーニングは行っていない。

保護者への説明責任等	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に丁寧に説明を行っている。
	③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からのお話には耳を傾け、一緒に考え、支援をしている。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会を開催している。その中でも保護者同士で話をしたり、関係作りを心掛けているが、支援というところまでは至っていない。
	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速かつ適切に対応していきます。
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に1回のペースで会報を発行し、活動の様子や行事などを知らせている。ブログは更新頻度を上げるよう努力をしていきたい。
	③⑥	個人情報に十分注意しているか	○		今後も気をつけていきたい。
	③⑦	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		状況によって配慮している。
非常時等の対応	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	企画・運営等を行う時間を作れるよう工夫・検討を行っていききたい。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		保護者の方々に目を通してもらえるよう、マニュアルは各家庭に配布している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に4回ほど、避難訓練を行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	定期的に行っていけたらと考えている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在まで身体拘束を行った事はないですが、もし今後必要がある場合には手順をしっかりと踏んで行っていけたらと考えている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食物アレルギーの子に対しては別の書類を記入してもらい、保護者と対応について確認している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		怪我やヒヤリハットがあった場合には記録に残し全体に周知している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

2018年度 保護者等からの事業所評価の集計結果

コモド北

		チェック項目	はい	どちらか まじまじ	いいえ	ご意見を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	9	3	・利用されているお子さんたちが成長するにつれて、利用時間帯も午前から午後に変わっていき、現在ではほとんどのお子さんたちが午後の時間帯に利用するようになっています。施設の面積は基準を満たしたものではありませんが、狭いと感じられてしまうことは職員も理解しております。しかし、現状の広さのおかげで職員が目がお子さんたちによく届いているのではないかと考えております。戸外活動がメインであるため、室内では落ち着いて過ごすためのスペースがあれば十分と考えております。今後、施設の老朽化等の問題が露呈してきた場合には、移転なども検討してまいります。 ・クーラーの設置に関していくつかご意見をいただいておりますが、現場の職員から必要性についての話が上がっておりませんでした。今後、設置に向けて社内で検討してまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	5	3	職員の離職が重なったことで、お子さんや保護者の方に不安を与えてしまい申し訳なく思っております。職員の離職につきまして、職場環境の改善には以前より取り組んでおりますが、職員個人の事情につきましては会社としてどうにかできるものではなく、残って動いている職員も胸を痛めております。 ・お子さんが通っていらっしゃる病院のSTやOTの方との連携は可能です。他店舗では職員が同行することもあります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	10	2	バリアフリー化はなされていません。利用されているお子さんが歩行に困難のある場合は職員が付き添って移動することになります。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	18	1	1	よりよい支援計画を作成できるように努力してまいります。
	⑤	支援計画はわかりやすく作成されているか	18	2	0	・文字が小さいのご指摘ありがとうございます。内容を削るのには難しいと思いますので、レイアウト等を工夫して文字サイズを大きくできるようにしてまいります。今後も更に保護者やお子さんに寄り添い支援計画を作成してまいります。
	⑥	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	8	4	・公園でどのような遊びを行うか、室内でどのような遊びを行うかについては、その日利用されるお子さんのことを考慮した上で決定しております。工夫がないと感じさせてしまったことは申し訳なく思っております。今後も工夫して活動内容を決めてまいります。 ・これまでは、長期休み中に公共交通機関を利用してお出かけをしたことはありますが、利用されているお子さん全員が活動に参加できたわけではございません。利用されるお子さんの人数や様子などを勘案して開催日を設定しておりますので、今後も参加いただけない方もいらっしゃるかと思います。ご理解の程お願い致します。
	⑦	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	8	8	・児童館での交流に関しましては、当施設に通所している事を守秘されているご利用家庭もいらっしゃる為、行えない事が多いですが、日頃の地域の公園での遊びでは地域の子どもたちと一緒に遊ぶ事もあります。また、他店舗との交流は不定期ではありますが、主に土曜日に交流している事もあります。
保護者への説明等	⑧	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	3	0	・引き続き丁寧な説明を心がけてまいります。
	⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1	1	・新しい職員には、お子さん一人ひとりの様子などを日々伝えたり、これまでの発達の様子を資料を読んで理解してもらえようとしております。今後も、職員全体がお子さんの理解を深めていけるように努めてまいります。 ・コモドご利用の際の怪我に関しましては口頭やノートでお伝えしておりましたが、伝え漏れがあったのであればお詫言申上げます。今後は伝え漏れがないように、保護者の方に怪我の事実を伝えられた際の様子等を職員で確認し合うなどしてまいります。
	⑩	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	3	3	・今回、面談期間を設けさせていただき、当施設でのお子さんの様子などをお伝えさせていただきました。面談期間でなくても面談の申し込みはお受けしておりますので、お気軽に職員にお申し付けください。面談のために来所するのが難しい方には、今後もノートでのやりとりや送迎時のお話の際に、詳しい様子をお伝えしてまいりたいと思っております。
	⑪	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	7	0	・保護者会につきましては、年々参加人数が減少しており、保護者の交流・連携というところまでには至っていないところが現状です。今後は、参加したいと思えるような保護者会を企画し、積極的に呼びかけ、交流ができるよう努力してまいります。
	⑫	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	8	1	・苦情等があった場合は迅速・丁寧な対応を心掛けてまいります。
	⑬	定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する個人情報に十分注意しているか	14	5	1	・ブログやホームページの更新については業務が追いつかず、更新が滞っております。今後、定期的に更新できるように努力してまいります。また、コモド通信を通して活動の様子などお伝えしてまいります。
	⑭	定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する個人情報に十分注意しているか	16	4	0	・引き続き徹底した管理を行ってまいります。
	非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	2	0
⑯		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	7	0	・避難訓練につきましては年に4回ほど色々な想定を考えて行っております。また、4月に配布したコモド通信の年間行事にてお知らせさせていただいております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	14	6	0	・引き続きお子さんたちに寄り添い、楽しいと思ってもらえるよう努力してまいりたいと思っております。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	5	1	・たくさんのご意見ありがとうございました。今後も楽しく・長くご利用いただけるよう、更なる工夫・改善を行ってまいりたいと考えております。 ・送迎の時間につきましては夏の期間は17:00、冬の期間は16:45出発は変わっておりませんが、天候が荒れてしまったときには少し早めに出発する場合もございます。その際は必ずご連絡させていただいております。また、お子さんの人数によっては送迎の順番が代わったりするため、時間が変わってしまう場合もございます。